

「脳舐めペロリスト姉妹のメス堕ち調教オーガズム」



2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12

①ペロリスト姉妹の策略…トランス誘導

◇位置関係

- ・ヌル↓左に囁く
- ・グチュ↓右に囁く

ヌル

「ふふ…だーれかなあ」

グチュ

「こんばんはー♪勝手に拉致しましたー♪」

ヌル

「はじめまして、ペロリスト姉妹でーす」

グチュ

「あ、そんなびつくりしなくても大丈夫だかね。

あたしたち、異世界からやってきたペロリスト姉妹っーか、そんな感じ。  
普段は日常に溶け込んでるJK、みたいな」

ヌル

「私たちペロリストの使命…それは君みたいな可愛い子を捕まえてえ。

心も体もあまーく溶かしちゃうことなのです♪

ぬるぬる、ぐちゅぐちゅーって」

グチュ

「そそ♪ペロリストはねー、メスイキ用の生物兵器を使って…。

君のお耳や前立腺を開発してくの」

ヌル

「それにね…言葉の魔法も使うの。

私たちの言葉を聞いてるとね。

男の子なのに、女の子になっていくかも♪

だんだん、ゆっくりとメスを自覚させられていくの♪

あなたの中にあるメスの一面を…くすくす」

1 グチュ  
2 「なんか面白そうっしょ♪難しく考える必要はないかんねー」  
3  
4 ヌル  
5 「そう、難しく考える必要はないの♪  
6 途中で疑問が湧いたり、意識が逸れても大丈夫。  
7 また私たちの声や音に意識を戻してもOK、そのままボケーっとしてても良いよ」  
8  
9 グチュ  
10 「そそ♪音や言葉に意識を集中させてくと、君の脳内が休息モードに入ってく」  
11  
12 ヌル  
13 「うーん、例えばねー。  
14心地良い音に意識を向け続けます。  
15 そうすると聴覚の働きが強まって、他の部分は働きが弱まりまーす。  
16 そのまま脳が休まって、理性の働きも弱まるとー？」  
17  
18 グチュ  
19 「そ、いわゆるトランス状態に入りまーす。  
20 ま、トランス状態って言うとなんか特別に聞こえるけどね。  
21 リラックスしながらイメージの世界に没頭している…そんな感じっつーか。」  
22  
23 ヌル  
24 「だから極端な話だけど、何をトリガーにしてもトランス状態には入れます♪  
25 音でも良いし、言葉でも良いし、何かをずっと見つめてもOKでーす」  
26  
27 グチュ  
28 「目を使うやつだとー、視覚野の働きが強まって、他の部分が休まってくみたい。  
29 ま、そんなんでもいいやー」  
30  
31 ヌル  
32 「そ、大事なのはその後のことだからね。  
33 その後っていうのはあ、」  
34  
35 グチュ  
36 「そりや暗示っしょ。暗示のためにわざわざトランスに入るんだからさー」

ヌル

「正解です♪」

3 そうなの、トランスに入るとね、言葉を受け入れやすい状態になるの。  
4 脳内から全身まで、休息モードに入ってるからね♪」

グチュ

「疑問が湧いたり、やなことが思い浮かびにくくなる。

8 そんで意識が途切れにくくなるの」

ヌル

「しかも、五感や身体感覚が敏感になっていく♪」

グチュ

「そのおかげで、言葉通りの体験をできるようになる、みたいな感じ」

ヌル

「そうだね、言葉通りの体験…。

18 例えばメスにされたりい♡

19 触手でアナルを開発されたりい♡

20 お耳をおま○こにされたりい♡

21 はあ…脳内の錯覚…オーガズムってすごいなあ♡」

グチュ

「うわ、興奮し過ぎてやべえやつになってんじゃない…」

ヌル

「はい、それじゃあ説明は終わりです。

28 脳から全身まで開発しちゃうから、安心して女の子になってね♪」



1 ①異世界ティータイム  
2  
3 ヌル  
4 「はい、まずは異世界ティータイムのお時間でーす」  
5  
6 グチュ  
7 「心と体を整えて、メス堕ちできる状態に仕上げてこっかー」  
8  
9 ヌル  
10 「ほおら、まずはお香マッチから、」  
11  
12 グチュ  
13 「！本ずつ、蝋燭に付けてくよ」  
14  
15 ヌル  
16 「まずはあまーい香りがするやつ、」  
17  
18 グチュ  
19 「はい、ふしゅーって」  
20  
21 □マッチを付ける  
22  
23 ヌル  
24 「くんくん…うーん♡  
25 あまったるいケーキのような香り…くんくんくん…すーんっふうう♡」  
26  
27 グチュ  
28 「ゆったり匂いを嗅ぐように…すーーん、っはああ♡」  
29  
30 ヌル  
31 「あったかくて落ち着く香り。  
32 煙を吸うと、じわじわ穏やかな気持ちが出来てくる」  
33  
34 グチュ  
35 「っすううう、っふーー」  
36

1 ヌル  
2 「次は、甘いレモンのような香りのするマッチ」  
3 □マッチを付ける  
4  
5 グチュ  
6 「すーーーーー、っはあああ。  
7 酸っぱいけど、ちよっぴり甘さのある香り」  
8  
9 ヌル  
10 「鼻から吸うと、ちよっぴり痺れるような、  
11 ジクジクしそうな香り」  
12  
13 グチュ  
14 「鼻が慣れてくると、あまーい匂いだけがするような、そんな不思議な香り」  
15  
16 ヌル  
17 「すううう、んっはああ。  
18 なんか楽しくなってきた♪」  
19  
20 グチュ  
21 「最後はアロマのような香りのするマッチ」  
22 □マッチを付ける  
23  
24 ヌル  
25 「んっすううう…っはあああ。  
26 鼻にツーンとくる香り」  
27  
28 グチュ  
29 「っすううう…っはああ。  
30 一気に吸うと、刺激が強すぎる感じ」  
31  
32 ヌル  
33 「ゆったり吸うと、全身からぼわぼわーって、力が抜けてくるような香り」  
34  
35  
36

1   グチュ  
2   「つつすうううう…んうう…ふううう…全身を優しく包み込んでくれるような  
3   香り」  
4  
5   ヌル  
6   「はーい、次は3つのマッチを一気に付けてくよー」  
7   □カウントに合わせて、マッチを付ける  
8  
9   グチュ  
10   「一本目」  
11  
12   ヌル  
13   「二本目」  
14  
15   グチュ  
16   「三本目」  
17  
18   ヌル  
19   「甘い香り、酸っぱい香り、ツーンとした香りに包まれる」  
20  
21   グチュ  
22   「3つが合わさって、不思議な香りが漂ってくる」  
23  
24   ヌル  
25   「ゆったりと煙を吸ってー…つつすうううう…んうう」  
26  
27   グチュ  
28   「吐いてー…っはああああ」  
29  
30   ヌル  
31   「はい、蝋燭を全部消しまーす  
32   首を左に向けて、思いっきり息を吐き出してー。  
33   つつすううう…つつふううう」  
34  
35  
36

1 グチュ  
2 「つすうううう… つつつふううううう。  
3 首を右に向けて、思いつき息を吐き出してー  
4 つすうううう… つつつふううううう」  
5  
6 □沸騰するような音が聞こえる「ぼこぼこ」  
7 (錬金釜みたいな)  
8  
9 ヌル  
10 「んー？なんか聞こえてくるね」  
11  
12 グチュ  
13 「ハーブティーのお時間でーす。」  
14  
15 ヌル  
16 「ぼこぼこ、ぼこぼこ、沸騰してるね…」  
17  
18 グチュ  
19 「つぷーーーーー」  
20 □息が当たって、ぼこぼこする音  
21  
22 ヌル  
23 「ほら、ハーブの香りが漂ってくる」  
24  
25 グチュ  
26 「すーーん、っはああ。  
27 鎮静作用のある香り」  
28  
29 ヌル  
30 「すううううう…っはあああ。  
31 飲んだらちよつと苦いけど、とても落ち着く香り」  
32  
33 グチュ  
34 「鼻の奥にスツキリとした感じが残る、みたいな」  
35  
36

1 ヌル  
2 「ほら、カップに注いでくよー」  
3 □ポットを注ぐ音  
4 □トレーにポットを置く  
5  
6 グチュ  
7 「ふうふうふう…っはああ」  
8  
9 ヌル  
10 「ずずうううう…んううう…はあ♡  
11 喉の奥がスツキリする味」  
12  
13 グチュ  
14 「ぼかぼかーって、体があったまってくる」  
15  
16 ヌル  
17 「ずずううう…ごくん…ごくん…っはあ」  
18  
19 グチュ  
20 「ずずううう…ごくん…ごくん…っはあ」  
21  
22 □少し間(5秒くらい)  
23  
24 ヌル  
25 「はい、それじゃあ次はあ、ホットローションを使ったマッサージ」  
26  
27 グチュ  
28 「この蜂蜜ローションでえ…」  
29  
30 ヌル  
31 「両耳をぐちゅぐちゅーって、マッサージしてこっかあ♡」  
32  
33 □(両耳)ローション開けて、ちよつと広げる  
34  
35 グチュ  
36 「えっろーい音を立ててえ」

1 □両耳ホットローション(ぐちやぐちや音)

2  
3 ヌル

4 「ほおら…ぐちちよぐちよのとりつとろに浸していくよお♪」

5  
6 グチュ

7 「もわーんって、優しく揉んだりい…んうう…はあ…んうう…はあ…んうう…」

8  
9 ヌル

10 「んううう…はあ…どうかなあ…耳よりちよつと熱いローション。

11 耳に馴染ませると…んうう…ほら、ぼわぼわして気持ちいの…んうう…はあ…んうう…」

12  
13 ヌル

14 「ぐちゅぐちゅぐちゅーって、手の表面で擦ったりい♡

15 んうう…はあ…んうう…」

16  
17 グチュ

18 「お耳をとろとろにしていこつかあ…はあ…んうう…っふう…んはあ」

19  
20 ヌル

21 「くす、蜂さんがいたら、ずずずずーって、お耳に寄ってたかってきそう♪」

22  
23 グチュ

24 「んうう…はあ…んうう…君の耳…ぼわーぼわーって、温まってきてる感じがする」

25  
26 ヌル

27 「そうだね、耳にローションが馴染んできてる…♡」

28  
29 グチュ

30 「ほおら、ぬるぬるぬるぬる…ぐちゅぐちゅぐちゅ…耳が溶けるような気持ちよさ」

31  
32 ヌル

33 「んはあ…んうう…耳が敏感になっちゃう音」

34  
35 グチュ

36 「スケベな水音が脳内まで響いて、全身が溶かされるような快感」

1 ヌル  
2 「もっと激しくてやらしい音、聞きたいかな」  
3  
4 ヌル  
5 「んううう…はああ…ほーら、ぐちゅぐちゅ感がちよつとだけ、強まっていく」  
6  
7 グチュ  
8 「ぬるぬるしたものが全身に入ってくるかのように、ぐちやぐちや侵される」  
9  
10 ヌル  
11 「ああ…だめ、溶かされちゃう…お耳が溶かされちゃうみたい…ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ」  
12  
13  
14 グチュ  
15 「んああ…だめえ…お耳ぐちやぐちやだめえ…くすくす。  
16 お股までズキズキ疼いちゃいそう♡」  
17  
18 ヌル  
19 「ジクジク、甘くて淫らな快感が、お耳を刺激していくの」  
20  
21 グチュ  
22 「あ、だめ…んはあ…お股の内側に、ジクジク快感が溜まってきちゃいそう」  
23  
24 ヌル  
25 「ほら…んはあ…とろけるようなメスの性感が、じゅわじゅわーって弾けてきちゃう」  
26  
27 グチュ  
28 「甘い痺れにジクジク追いやられる」  
29  
30 ヌル  
31 「ほら、想像してみて、お耳をぐちやぐちやにされて、はしたなく喘いじやうメスの姿  
32 。  
33 あ、あ、あ、んうううう…」  
34  
35 グチュ  
36 「喜んで淫らな表情を浮かべる、やらしくてスケベな女」

1 ヌル  
2 「メス穴を責められて、はしたない顔で下品に喘ぎ狂うメスの姿」  
3  
4 グチュ  
5 「ねえ、誰のことか分かってるよね…くすくす」  
6  
7 ヌル  
8 「そう、君はメスの性感を知っている。  
9 体の中で眠っている女の快感」  
10  
11 グチュ  
12 「メスに堕ちていく快感を知っている。  
13 これから、それを呼び覚ましていくだけ…」  
14  
15 ヌル  
16 「ただただ、メスの快楽に身を包まれるだけでいいの…ほおら、ぐちゅぐちゅぐちゅ…く  
17 すくす」  
18  
19 ヌル  
20 「ベッタリと張り付くぬめぬめ音が、お耳の中に入り込み…ぐちやぐちやに侵していく」  
21  
22 グチュ  
23 「メスの快感が染み付いてくる。  
24 あ、あ…あ…んううう…じくじくじく…」  
25  
26 ヌル  
27 「じゅわーって、とろけるような快楽がお股を侵していくような、そんな気持ちよさ。  
28 んうう…っぐう…っはああ…」  
29  
30 グチュ  
31 「お耳をぐちやぐちやに搔き回されて、あまーい痺れが膨らんできそう」  
32  
33 ヌル  
34 「ううやうやって両耳をぐちゅぐちゅされる感じ、覚えておいてね…」  
35  
36



1       グチュ  
2       「メス堕ちのイメージ。  
3       それを意識する練習、みたいな感じかなー」  
4  
5       □少し間(5秒くらい)  
6  
7       ヌル  
8       「はい、それじゃあ次はあ…顔全体に浸していこっか」  
9  
10      □ローション開ける音「カチッ」  
11      □ローションぐちゃぐちゃ音  
12  
13      グチュ  
14      「わ、やらしい音が響いてんね」  
15      女の子がおまんこくちゅくちゅしてる音みたいっしょー」  
16  
17      ヌル  
18      「大切なのは言葉から連想していくこと。  
19      女の子になって、おまんこいじめられてるイメージでもOK」  
20  
21      グチュ  
22      「言葉から何を連想するかは君の自由。  
23      少しずつ、メスの性感をイメージしてこっか」  
24  
25      ヌル  
26      「はい、それじゃあ全身をスキャンしていきまーす。  
27      顔周りの緊張をほぐそっか」  
28  
29      グチュ  
30      「顔周りは緊張しがちだかね。  
31      丁寧にやってくよー」  
32  
33      ヌル  
34      「ふふ…はい、準備完了」  
35      顔中をマッサージしていくから、触れた部分に意識を向けてみて」  
36

1 グチュ  
2 「女の子になったらどんな感触なんだろうなーって、想像してみよっか♪」  
3  
4 ヌル  
5 「ほら、すっごくあまーい香りが漂ってくる…♪女の子が好きそうな匂いだね。」  
6  
7 グチュ  
8 「なんかエッチな気持ちになってくるかも♪」  
9  
10 ヌル  
11 「この蜂蜜ローション、媚薬効果もあるの♡  
12 ほら、甘い香りが鼻から全身を駆け巡っていく。  
13 お股の内側がジンジンしてくるかも…」  
14  
15 ローションからローションマッサージ音  
16  
17 グチュ  
18 「しよっと…まずはここ…おでこに意識を向けていこっか。  
19 力が入ってるかな？入ってないかな？」  
20  
21 ヌル  
22 「んはあ…んううう…しよ…ゆっくり力を入れてみようね」  
23  
24 グチュ  
25 「んうううっしよ…はああ…んうう…ゆっくり力を抜いてみようか」  
26  
27 ヌル  
28 「ふふ…無理にリラックスしようとしなくても大丈夫だからね。  
29 (一時的に正面近距離(上側)→キスのみ)  
30 ん…つちゅう…えれれ、えれれれれれ。」  
31  
32 グチュ  
33 「わ、いきなりおでこにキス責めかあ♪  
34 えっっっっっ」  
35  
36

ヌル

「おでこにキスされるの、女の子はすごく弱いんだよね。

ふふ、君も意外と敏感だったりして〜」

ヌル

「あとはねー、緊張していると眉間に力が入ったりするかも。

もし力んでる感じがあったら、ゆっくり力を入れて、ゆっくり抜いてね」

グチュ

「ま、必ずしもやらなきゃいけない訳じゃないっつーか。

言われた通りやるかどうかは、君が決めることだからさ」

ヌル

「うんうん…リラックスしてるとか、気持ちよくなってるとか、私たちが決めつけることじゃないの」

グチュ

「かもしれない…絶対にそうとは限らない…すべて鵜呑みにせず、自分のペースを大事にしてみて」

ヌル

「んううう…しょ…んうう…っと」

グチュ

「あゝこのラインから首筋に沿って〜。

んしょ…ゆっくりと指先でなぞって〜。

首筋をなぞりながら〜」

グチュ

「くすくす、媚薬効果も合わさって、目がとろーんってなってきたかいあ、」

ヌル

「はーい、呼吸は整ってきたかな。

カウントダウンが終わったら、呼吸を自然なペースに戻そっか」

1 ヌルグチュ  
2 「3.....2.....1.....0」  
3  
4 グチュ  
5 「ゼロ、ゼロ、ゼロー♪くすくす」  
6  
7 ヌル  
8 「それじゃあ、全身の感覚をもっと女の子に馴染ませていきまーす♪」  
9  
10 グチュ  
11 「次はローションを使って、メイクごっこしちゃおっかあ♡」  
12  
13 ヌル  
14 「実際にメイクをする訳じゃないけど、女の子になるイメージを浸透させてくの」  
15  
16 グチュ  
17 「恥ずかしがらなくていいかんねー♪」  
18  
19 ヌル  
20 「そ、女の子になるって言っても、無理やり女装させたりしないから安心して」  
21  
22 グチュ  
23 「これはメイクごっこだから、安心してね」  
24  
25 ヌル  
26 「はい、さっそく試しちゃおっかあ♡」  
27 下地を塗ってくみたいに、ほっぺたに小さな円を描いてえ...」  
28  
29 グチュ  
30 「ぐるぐるー」。  
31 こんな感じで、肌に薄ーく伸ばしてく」  
32  
33 ヌル  
34 「色のむらや全体の不自然さをなくすために、下地になるクリームが必要な」  
35  
36

1 グチュ  
2 「ほんのちよつとでも塗っておけば、肌全体に自然な感じが出てくるよ」  
3  
4 ヌル  
5 「んうう…しょ…はい、このままコンシーラーを塗ってえ」  
6  
7 グチュ  
8 「目の下にあるクマ、ちよつとしたニキビ、口角のシワ…女の子が見られたくない部分を  
9 隠しちゃえ」  
10  
11 ヌル  
12 「んっしょ…ゆっくり、薄く描いていく。  
13 肌色に近いコンシーラーで補正すると、女の子の顔が整ってくるの」  
14  
15 グチュ  
16 「んうう…しょ…ふふ…んはあ…。  
17 クマを隠す時は、特に薄く塗るのが大切なあ。  
18 皮膚が薄いから、つけすぎると違和感が出ちゃう」  
19  
20 ヌル  
21 「んうう…しょ…うん、こんな感じかな。  
22 はい、それじゃあ次はリキッドファンデーション」  
23  
24 グチュ  
25 「少し影を作って、ツヤが出てるようにするの」  
26  
27 ヌル  
28 「ブラシでポンポンポンーって、軽くファンデーションを付けてえ。  
29 んうう…ふう…はあ…」  
30  
31 グチュ  
32 「ほっぺの下から、斜め上にしゅっしゅーって滑らせてくの。  
33 肌に優しく当てる感じかな」  
34  
35 ヌル  
36 「顔にほびよく凹凸が出て、もーっと女の子っぽくなっちゃう」

1       グチュ  
2       「乙女の肌に艶ができちゃうの」  
3  
4       ヌル  
5       「んううう…しょ…よーし、くすくす。  
6       このままウィッグを付けてえ、前髪にクリップをつけてえ…」  
7  
8       グチュ  
9       「んっしょ…っと…んうう…」  
10  
11      ヌル  
12      「ちょっとだけ口紅も塗っておいてえ…しゅっしゅ…っと」  
13  
14      グチュ  
15      「んう…しょっと。  
16      はーい、ナチュラルメイクの完成でーす」  
17  
18      ヌル  
19      「つけまつげ、カラコンなしの自然なメイク、男の子でも抵抗がない感じのやつ♡」  
20  
21      グチュ  
22      「くすくす、ああ、可愛いー♡  
23      ふふ、なんか照れちゃうよね♡」  
24  
25      ヌル  
26      「くすくす、どうだったかな。  
27      女の子になっちゃう背徳感、味わえたかなー?」  
28  
29      グチュ  
30      「それじゃ、準備完了ってことで」  
31  
32      ヌル  
33      「今からメス堕ち調教、はじめまーす」  
34  
35  
36

1 グチュ  
2 「乳首・お耳・お尻…この三か所を調教すると、女の子と同じような快感になつてくかね  
3 ん」  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36

②乳首責めパート

ヌル

「はい、まずは君の乳首をメスの性感にしていきまーす♪

オスっぱいをぶくーつと膨らませてえ♪」

グチュ

「乳首の先端、ここにぎりぎり触れるようにい…」

ヌル

「爪でねちっこく引っ搔いてくの♪」

ヌルグチュ

「せーの、かり…かり…かり…かりかり…かりかり…かりかりかりかりーん♡」

ヌル

「あ、急にされるのだめえ♡って、変な声出ちやいそうかな？」

グチュ

「くすぐったいかもだし、今はよく分からない感じかも」

ヌル

「でも大丈夫。

メスの性感が分かってくると、お股の内側…前立腺がジクジクーって、あったまってくるの♡」

グチュ

「女の子が乳首で感じると、子宮の内側までジワジワーって、あまーい痺れがきちやう。くす、流れ落ちてくる感じかな」

ヌル

「もちろん、男の子にもメスイキスポットがあるの♡

まずはおちんぼが気持ちよくなつてえ♡



1     グチュ  
2     「おちんぼの奥も気持ち良くなってる♡」  
3  
4     ヌル  
5     「その内側にあるメスおまんこ性感、そこがジクジクあったまってくる感じ♡」  
6  
7     グチュ  
8     「そこにえっろーい痺れが溜まってきてえ…」  
9     あ、あ、あ、だめ…じくじく止まらないの…メスイキきちゃうよお…って、」  
10  
11    ヌル  
12    「くす、場所はイメージできたかなあ？」  
13  
14    グチュ  
15    「うーん、最初はちょっと分かりにくいかも」  
16  
17    ヌル  
18    「えっとね、自転車に乗った時に当たる部分…その内側にメスイキ性感があるの♡」  
19  
20    グチュ  
21    「まずはおちんぼ、次におちんぼの奥、最後はさらに深いところ…そこがジンジンしてく  
22    る感じだよー、」  
23  
24    ヌル  
25    「まずはこの流れをイメージしてみてね♡」  
26  
27    グチュ  
28    「それじゃあ、人差し指と親指の爪を合わせて」  
29  
30    ヌル  
31    「軽ーく力を入れた状態でえ…上下に擦られると…お、お、おーって下品な声が漏れちゃう  
32    かも、」  
33  
34    グチュ  
35    「乳首の汗腺が敏感な子だと、変な声出ちゃうやつ、」  
36

1 ヌル  
2 「でも、最初は無理に感じようとしなくて大丈夫」  
3  
4 グチュ  
5 「まずは軽イキから…ちよっとお尻がビクッてするくらいを目指そうね」  
6  
7 ヌル  
8 「ふふ…かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり」  
9  
10 グチュ  
11 「かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり…あ、あ、あ、んうう…ふふ」  
12  
13 ヌル  
14 「くすくす…」  
15 耳元で囁きながらの乳首責め…ねちっこくて癖になっちゃいそうだね」  
16  
17 グチュ  
18 「ふふ、なんかじれったいかもね、」  
19  
20 ヌルグチュ  
21 「んっふふ…んはあ…かりかり、かりかり、かりかり、かりかり」  
22  
23 ヌル  
24 「んはあああ…ふふ、んうううう、あーん♡」  
25 くすくす…かりかりかりかり、かりかりかりかり」  
26  
27 グチュ  
28 「んはあ…かりかりかり、かりかりかりかり」  
29  
30 ヌル  
31 「かーりりかり、かーりりかり…ふふ…」  
32 急に乳首をいじる速度を落としたりい♡」  
33  
34 グチュ  
35 「んはあ、爪と爪を合わせたまま、かーりりかり、かーりりかり。  
36 あ、あ、あ、あーん♡」



1 グチュ  
2 「くり、くり、くり、くり、くり、くり、くりー♡」  
3  
4 ヌル  
5 「くす…ねちっこく…女の子のクリをいじるみたいにい♡」  
6  
7 グチュ  
8 「んはあ…んうう…ふふ。  
9 んううう…くーり、くーり、くーり、くーり…くりくりくりくり…」  
10  
11 ヌル  
12 「くーりくり、くーりくり、ふふ。  
13 爪と爪で上手く挟むようにすると、前立腺…お尻の内側がジクジクしてくるかも」  
14  
15 グチュ  
16 「んふふ…くりくりくりくりくり、くりくりくりくりくり、くーりくり、くーりくり…  
17 ふふ」  
18  
19 ヌル  
20 「んはあ…くす、爪と爪を合わせて、つまんだ形の手で乳首を左右に擦ってくよお」  
21  
22 ヌル  
23 「これされるとねー、んっああ、んうう、つくううん！つて喘いじゃうかも」  
24  
25 グチュ  
26 「前立腺がじわじわあったまってくる感じかな」  
27  
28 ヌル  
29 「ふふ、爪を挟んでくりくりされたり、人差し指でえ…」  
30  
31 グチュ  
32 「かりかりかりかりかりかりかり」  
33  
34 ヌル  
35 「かりかりかりかりかりかりかりかり」  
36

グ  
チ  
ユ

「♡、♡、♡、♡、♡、♡、♡、♡、♡」

又ル

「くす…ねちつくく…女の子のクリをいじるみたいにい♡」

グ  
チ  
ユ

「んはあ…んうう…ふふ。」

んううう…くーり、くーり、くーり、くーり…くりくりくりくりくり「…」

又ル

「くりくり、くりくり、ふふ。」

爪と爪で上手く挟むようにすると、前立腺…お尻の内側がジクジクしてくるかも♪」

グ  
チ  
ユ

「んふふ…<り<り<り<り<り<り、<り<り<り<り<り、<り<り<り、<り<り<り、<り<り<り…」

又ル

「んはあ……くす、爪と爪を合わせて、つまんだ形の手で乳首を左右に擦つてくよお♪」

ヌル

「これされるとねー、んっああ、んうう、つくううん！ つて喘いじゃうかも」

グ  
チ  
ユ

「前立腺がじわじわあつたまってくる感じかなー」

又ル

「ふふ、爪を挟んでくりくりされたり、人差し指でえ……」

グ  
チ  
ユ

「かりかりかりかりかりかりかりかりかりかり」

又ル

「かりかりかりかりかりかりかりかりかり」

1           グチュ  
2       「かり…かり…かり…かり…かり…かり…」  
3  
4       ヌル  
5       「かり…かり…かり…かり…かり…かり…」  
6  
7       ヌルグチュ  
8       「かりかりかり、かりかりかりかりかりかりかり。んはあああ、ん、ん、ん  
9       、んうう♡」  
10  
11       ヌル  
12       「くり…くり…くり…くり…」  
13  
14       グチュ  
15       「くり…くり…くり…くり…」  
16  
17       ヌル  
18       「くりくり、くりくりくり…」  
19  
20       グチュ  
21       「くりくり、くりくりくり…」  
22  
23       ヌル  
24       「くり…くり…くり…くり…くり…くり…あ、すごい、乳首じくじくすごいよお…くりくり…」  
25  
26       グチュ  
27       「あ、きちやいそ、ムズムズきちやいそう…あ、すご…あ、あ、あ、んっはああ…」  
28  
29       ヌルグチュ  
30       「くすくす…せーの、くりくりくりくりくりくりくりくり…くりくりくり、くりくりくり  
31       …かりかり、かりかりかりかりかりかりかり…んああ…んはああ…」  
32  
33       ヌル  
34       「乳首じんじんきちやうよお。」  
35       あまーい痺れがお尻の中にきちやうよお♡」  
36

1       グチュ  
2       「まるで女の子がクリ責めされてるみたいな快感♡  
3       ジクジク、ジクジクって、甘いメスの快感が流れ落ちてきちゃう♡」  
4  
5       ヌル  
6       「おちんぼの奥底にある、おまんこみたいな性感帯。  
7       メス堕ち専用のえっろーい場所♡」  
8  
9       グチュ  
10      「そこに快感のゲージが溜まってくる。  
11      えっろーい快感が溜まってくの」  
12  
13      ヌル  
14      「んはあああ…お、お、お。つぶぶ。」  
15      それじゃあ次はあ、人差し指だけで下から上に引っかく乳首責めでーす♪」  
16  
17      グチュ  
18      「親指を胸の上部に当てて、人差し指で下乳を…かり…かり…かり…あ、あ、んは  
19      ああ…くすくす」  
20  
21      ヌル  
22      「かりかり、かりかり、かりかり…かりかり、かりかり、かりかり、かりかり  
23      …。」  
24  
25      グチュ  
26      「かりかりかりかり…かりかりかりかり…  
27      かーりかりかーりかり」  
28  
29      ヌルグチュ  
30      「くすくす…せーの、かりかりかりかりかりかり、かりかりかりかりかりかり、  
31      かりかりかりかりかりかり…。  
32      かりかりかりかり…んうう♡」  
33  
34      グチュ  
35      「あん、あん、あん、あああん♡」  
36

1 ヌル

2 「ふふ、どうだったあ♡体の感覚を感じてみてえ♪」

3  
4 グチュ

5 「ぷくつと膨らんだ乳首…股の内側からくるゾクゾクした感じ…くすくす。

6 どうか？

7 少しずつ女の子になってきた実感、湧いてきたかも♪」

8  
9 ヌル

10 「ほら、女の子になって乳首責めされたら、どんな声が漏れちゃうのかな。

11 やらしくてスケベなメス声、本性全開のお下品アクメ、どんな感じなんだろう♪」

12  
13 グチュ

14 「女の子になったらねー、お股の内側から子宮に向けて、ずきゅん、ずきゅずきゅずきゅ  
15 んって、エッチな電流が走ってくんの♪」

16  
17 ヌル

18 「んうう…いきなり乳首いじるのはつつんああ…。

19 カリカリされるの、弱い…です…んううう…はあ…おお…弱いからあ♡やめてくださっ  
20 あん…。」

21  
22 グチュ

23 「んああ…よわいですからあ…んうう…んはああ…んっぐうう、ほおお…。

24 だめだめだめ…乳首に気持ちいの溜まってくるよお…って♪」

25  
26 ヌル

27 「お股ジクジクしてくるよお…。

28 んぐう、あん…ああ、いきなりカリカリされるの弱いもん…やめて…ほんとにそこ弱点  
29 だからあ…んうう…っほおお…だめだめだめえ…って♪」

30  
31 グチュ

32 「ごんごんメスを自覚させられて、呂律が回らないほどえっろーい快感が溜まってくの♪」

33

34

35

36

1 ヌル  
2 「ふふ…ほとんどの女の子は乳首が弱い。  
3 でも、ゆっくり丁寧に、どんな勢いをつけていくのが大事なの。  
4 もっと丁寧に、乳輪をじっくり回して、乳首の上側を抑えながら下乳からゆっくりカリ  
5 、カリ、カリ…って動かしたり」  
6  
7 グチュ  
8 「爪と爪を挟んで、乳首の先端だけをぐりぐりぐり…優しく焦らしたり」  
9  
10 ヌル  
11 「爪を合わせながら横方向にカリカリカリカリ…高速で動かして軽イキまで追い込んだり…  
12 そうやって緩急をつけてくの」  
13  
14 ヌル  
15 「思いっきりつねったり引かく追い込みは、快感が溜まりきってから、  
16 最後に溜まりきった快感を開放して、いぐいぐいぐーんっおおお…って、  
17 ゆったりキメてくの。」  
18  
19 グチュ  
20 「乳首に強い快感を求めるのはナンセンス。  
21 弱い快感が、お股の内側に流れ込むのを感じ取って、軽い絶頂をキメてくの。  
22  
23 ヌル  
24 「乳首で感じるコツは、焦らずに快感を受け止め、強い快感を追わないこと。  
25 弱い快感を徐々に高めていく、それを何度も繰り返すことで軽イキ絶頂をキメる」  
26  
27 グチュ  
28 「その快感に耐え抜けば耐え抜くほど、お股の内側からビクビクって、軽いオーガズムを  
29 迎えるの。」  
30  
31 ヌル  
32 「ね、女の子の気持ち、分かってきたかも。」  
33  
34 グチュ  
35 「ね、女の子の快感、分かってきたかも。」  
36



1 ヌル  
2 「君は心身ともに、メスに染まっていく。  
3 メスに堕ちていく」  
4  
5 グチュ  
6 「次はお尻もお耳も、メスの快感になっていくの。  
7 女の子のように感じられるようになるの」  
8  
9 ヌル  
10 「じわじわ前立腺に快感が溜まってくる」  
11  
12 グチュ  
13 「焦らされてるみたいで気持ちいい。  
14 早くこの快感を開放したい…」  
15  
16 ヌル  
17 「でもー、まだまだこれからなの♪」  
18  
19 グチュ  
20 「メス堕ち調教は始まったばかりだかんねー♪」  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36

③ 耳 バイブ

「それじゃあ次は、耳まんこバイブのお時間でーす。」

グチュ

「耳まんこの入口にあるくぼみ…女の子のクリを責めてくかんね。」

ヌル

「耳まんこにバイブ当てられると、メスになっちゃう背徳感で興奮しちゃう感じかも。」

グチュ

「焦らされて焦らされて、ゾクゾクした快感が耳の中に溜まってくの。」

ヌル

「お耳の中かお尻の内側、どっちかに意識を向けてみよっかあ。」

ジクジク、ジクジクって、ゾクゾクした快感が流れ込んでくるかも。」

□ 耳にバイブを当てる(耳に当てたり離したりを繰り返す)

グチュ

「ほら、まずは耳の外側からくすぐるように…。」

んしょ…ふふ…ぶん、ぶん、ぶん、ぶーん。」

ヌル

「ほら、女の子の弱点…クリの先端にギリギリ触れてくよ。」

くすぐす…ぶんぶん音が鳴ってるね。

くすぐったいかな？それともゾクゾクするかな？」

グチュ

「くすぐす…お耳に当たったり、離したり、これを繰り返して焦らしてこっか。」

ヌル

「ほら…んふふ、女の子がバイブでクリ責めされてるの。」

んつくう…んはああ…しゅっごいよお…クリにジクジク溜まってくるう…んはああ…」

1       グチュ  
2       「やばい、やばいよお…気持ちいいおっ…んっはああん…って」  
3  
4       ヌル  
5       「ん、ん、んー♡クリ責めでお股の内側がずきゅん…ずきゅんって…」  
6       お耳から前立腺に向けて、どんどん快感が溜まってくるの」  
7  
8       グチュ  
9       「んっぐうう…んっはあ…おお…すっ…おまんこジクジクくる…焦らすのダメえ…だめだ  
10      よお…っぐうう…これしゅきい…んっはあ♡」  
11  
12      ヌル  
13      「こんな感覚、初めてかも」  
14      お耳からお股の内側まで、ジクジク温まってくるの」  
15  
16      グチュ  
17      「だめ、だめなの…もう我慢できないよお…んはあ…お耳まんこに挿れてほしいよお…ジン  
18      ジン止まらないよお…んはああ」  
19  
20      ヌル  
21      「はやく挿れてほしいよお…お耳まんこぐちゅぐちゅ濡れてきてるよお…」  
22      耳バイブ挿れられて、はしたないお下劣アクメきたいよお…」  
23  
24      グチュ  
25      「はい、お耳まんこ焦らすの、そろそろやめてあげよっか」  
26      ほおら、思いっきり奥まで突っ込んであげるかねー」  
27  
28      □バイブを耳の内側に当てられている  
29  
30      ヌル  
31      「ほら、おまんこの入り口…クリの裏側まで当たってくよお…耳まんこ壊れちゃいそう」  
32  
33      グチュ  
34      「んっぐうう…入ってきちゃあ…くすくす。  
35      お耳まんこ、奥まで振動してる」  
36      よわあいところ、いじめられてるみたいだね」

1 ヌル  
2 「くすくす…耳まんこの童貞、卒業でーす♪  
3 んつくうう…中の刺激、初めてだからやっぱ…。  
4 ほら、耳の形に沿って弱点を探してくとお…くす、この辺りが弱いのか？」  
5  
6 グチュ  
7 「鼓膜の少し手前、ここで止めるようにするとお。  
8 くす、ギリギリ奥まで届かないから、すっごくじれたいよねえ♪」  
9  
10 ヌル  
11 「今の君、女の子みたいで可愛いなあ♪  
12 みたいっていうより、もう心は女の子と同じ…だからメスなの…。  
13 耳バイブで感じちゃうメスなの♪」  
14  
15 グチュ  
16 「そ、あなたの心は女の子。  
17 だって、乳首でも両耳でも、じくじく感じられるもんね。  
18 その快感がお股の内側…前立腺に溜まってくる」  
19  
20 ヌル  
21 「メスの快感ゲージが溜まってくる。  
22 じくじく…じくじく。  
23 ずきゅん、ずきゅんって、お股がじんじん疼いてくる。  
24 でも、まだメス堕ちまでは遠いの」  
25  
26 グチュ  
27 「女の子に、メスの快感を誘導される。  
28 じわじわ…じわじわ。  
29 きゅん…きゅんって、前立腺が疼いてくる。  
30 でも、メス堕ちはこれからなの」  
31  
32 ヌル  
33 「はい、ハハで耳バイブ止めまーす♪」  
34  
35  
36

④ 耳舐めパート

「それじゃあ今から…お耳を開発していきまーす」

グチュ

「心も体も女の子に墮としていく、ペロリストの生物兵器…リツカーベロでーす」

ヌル

「そう、1つめの生物兵器はあ…私たちのなっがーいベロ」

先端が超細長いベロだからあ…耳奥まで犯されているゾクゾクを味わえるかも」

グチュ

「自由自在に伸ばせるよう、人体改造されたベロなの。

メス落ち専用のえっろーいベロ」

ヌル

「くすくす…さっそく君の耳をおまんこに開発してこっか」

グチュ

「ほおら…まずはお耳の溝から入口に向かってえ…ぞりぞりベロ舐めでーす」

◇ 耳の入口まで、舌で擦るような耳舐め

ヌルグチュ

「はああああむ…だえひからめへえ♡…れえええええ…えれえええええええ。

んはああ…ぞーりーり、ぞりぞりぞりぞり…ぞーりーり…くす…ふんふんふん

♡…ぞりぞりぞりぞり…ぞりぞりぞりぞり…ぞーりーり、ぞーりーり、ぞーりーり、

ぞーりーり…」

ヌル

「くすくす♡ぞりぞりするたび、唾液で糸引いちやってるねえ♡

えっろ♡」

グチュ

「クリを焦らすみたいに、お耳まんこの入り口をなぞってくかんね♡」

1 ヌルグチュ  
2 「んううう…はあああむ…ぞり、ぞり、ぞり、ぞり…ぞりゆりゆりううう…ぞつりぞつり  
3 ぞつりぞつり…ぞりゆ、ぞりゆ、ぞりゆ、ぞりゆ…ぞつりぞつりぞつりぞつり…ぞりいい  
4 いいいい…。  
5 れー…る♡ちゅうううっふは」  
6  
7 ヌル  
8 「次はあ♡超長いベロ舐め♡  
9 なっがーい舌が、れっつっつろおおおおおあって、耳奥まで入ってくるの♡」  
10  
11 グチュ  
12 「啞えながら舐められると、耳をフェラされてるみたいで気持ちいぞー♡」  
13  
14 ◇れろれろ／えれれ(有聲)  
15  
16 ヌルグチュ  
17 「はああああむ…れえええええ…えれええええ…んふう♡ふう♡ふう♡  
18 えれれ、えれれれれれれれれ…れっつっつろおおおおお…れっつっつろおおお  
19 おおお…れっつっつろおおおおお…れっつっつろおおおおお…くすくす。  
20 んうううう…ちゅううっふは」  
21  
22 ヌル  
23 「んああ♡お耳まんこフェラされるのきもちいよお♡」  
24  
25 グチュ  
26 「耳奥をベロで塞ぎながら、自由自在に動き回るベロ舐めでーす♡」  
27  
28 ヌルグチュ  
29 「はあああああむ…れっつっつろ、れっつっつろ、れっつっつろ、れっつっつろ…えれれ  
30 れれれ、えれれれれれれれれ…れっつっつろおれっつっつろおれっつっつろおれっつっつろお  
31 …。  
32 ふん♡ふん♡ふん♡ふん♡くすくす…えれれれれれれれれ…んはあああ♡  
33 えれれ、えれれれれれ…れっつっつろおおおおお…ふんふんふん♡  
34 れっつっつろおおおおお…れっつっつろおおおおお…れっつっつろおおお…  
35 ちゅうううっふは♡」  
36

一  
ヌル

「くす、  
膾奥を責めるみたいにい♡」

3  
ベロを耳奥まで差し込まれちゃってるねえ♡」

4

グ  
チ  
ユ

「くす、耳とベロでセックスしてるみたいっしょ♡」

7

ヌルグチユ

9 「んはあああ……はああああむ……れつつるう、れつつるう、れつつるう、れつつるう♡  
0 れろれろれろれろ……んはああ♡……えれれえええ……えれれ、えれれれれれれ……  
1 んはああああ♡……べろべろべろべろ……ちゅちゅちゅちゅううううつぷは。

んはああああ♡…べろべろべろべろ…ちゅちゅちゅつちゅううううつぷは。

このまま臆奥とクリ裏を交互に舐めるようにい…♡

んうううう…べろおおおお…れつつろおおお…べろべろべろ…んはああああ♡  
ちゅううううっふは♡」

ちゅううううう  
つぷは♡  
」

5

又ル

「はあい♡耳奥れろろの次はあ♡

ペロリスト姉妹の秘技…脳舐めぐぼぐぼ耳フエラでーす♡」

9

グ  
チ  
ユ

「脳舐め…脳を舐められているかのような耳奥責めで「す♡超ゆっくりぐぼぐぼからのー、高速ぐぼぐぼピストン♡」

超ゆつくりぐぼぐぼからのー、高速ぐぼぐぼピストン♡」

3

ヌルグチユ

「くすくす…脳ぐぽ、  
いつくよー」♪

はああむ……ぐつつぽおおお……ぐつふう……ぐつぽおおお……ぐつぽぽぽ……ぐつぽお  
おおお……ぐつつつつ、ぐふふつつ、ぐふふふつつ。

おおおお...ぐ。つ。つ。つ。つ。ぐ。ふ。ふ。つ。つ。ぐ。ふ。ふ。つ。つ。

8

又ル

「んはああ♡んふう♡んふう♡んふう♡…くすくす…鼻息で焦らしながらあ♡」

1

グ  
チ  
ユ

「んはああ♡んふう♡んふう♡…くすくす…鼻息だけなのに、耳まんこ感じちやいそ♡」

そ  
♡  
L

5

9

1

2

3

4 5 6

7

8

9



1

2

3

4

5

9

7

8

906

1

2

3

4

5

9

27

8

6

0

1

2

3

4

5

9



ヌルグチユ

「はああああむ…しゆきい♡んむううう♡♡

ぐっぽぐっぽぐっぽ！えれれ、えれれれれれれ…れつろおれつろおれつろお  
れつろお…ぐふふふふふふ！ぐっぽっぽっぽ、ぐぼぐぼぐぼ…ぐっふううう…  
れるう、れるう、れるう、れうう…えれれ、えれれれ…

んはああああ♡  
…くんくんくん…  
んおお♡  
…ふふ♡

ん  
っ  
ふ  
う  
♡  
ん  
っ  
ふ  
う  
♡  
ん  
っ  
ふ  
う  
♡  
ん  
っ  
ふ  
う  
♡  
ん  
っ  
ふ  
う  
♡

ぐっぽお！ぐっぽお！ぐっぽお！ぐっぽ！ぐっぽ！ぐっぽ！  
ぐっぽお！ぐっぽお！ぐっぽお！ぐっぽ！ぐっぽ！ぐっぽ！

くぶううう…：つぶつぶつぶつぶふう…：ぐっぽおおおおつ…ふは」

又ル

「くすくす…ベロおちんぽとお耳まんこ♡」

どちゅどちゅ…ぬちゅぬちゅーつて、お下品セックスしちゃってるねえ♡」

グ  
チ  
ユ

「くすくす…頭がおかしくなるくらいのごぼれる責め…。」

だめ♡だめえ♡あん♡あん♡あーん♡んっぐううう  
...おほおおお♡

くす、女の子みたいに腰をビクビクさせながらだと、もつと気持ちいいかも♡」

ヌ  
ル

「耳オナホでぐっぽぐっぽ、じゅっぽじゅっぽ♡」

えっろーい音立てながら耳奥責めされてえ♡

あん、あん、あーん♡つて、情けない声出してもいいの♡」

ヌルグチユ

「ほおら…あ、あ、あーん♡

はああああむ…しゆきい♡んうううう♡

ぐぼお！ぐぼほおお！ぐつぽぐつぽぐつぽ！…ぐつぽぐつぽぐつぽ！…ぐ  
ぶ、ぐぶ、ぐぶ、ぐぶ！ぐつぶつぶつぶつぶつぶ！ぐつぶつぶつぶつぶつぶ！

ぐびい、ぐびび、ぐびびびいいい……つぽつぽつぽ……じゅつぷふふふふふ、じゅつぷじゅつぷじゅつぷじゅつぷ、じゅつぽおおおお！

はあ  
ああ  
ああ  
む…  
しゆき  
しゆき  
しゆき  
しゆき  
い♡  
ん♡  
う♡  
う♡  
う♡  
う♡  
う♡  
う♡  
♡

ぐぼぐぼぐぼぐぼ…ぐぼぐぼぐぼぐぼ、ぐぼぐぼぐぼぐぼ…ぐぼぐぼぐぼぐぼ…。

んううううう  
…れる  
れる  
れる  
れる  
る、  
ぐぼ  
おお  
おお  
おお  
…。

んっちゅうううう…っふはああ♡」

⑤触手パート(耳)

「くすくす…ねえねえ、そろそろお耳まんこに挿れてほしいかなー?」

グチュ

「何をー?」

ヌル

「細くてながーいもの♪」

奥に入れると気持ちよくてえ、引っ掛かるとジワジワ気持ちいやっ♪」

グチュ

「くすくす、なんだろね?」

お耳やお尻に入っても痛くない。

出たり入ったりするたびに、気持ちいいところ突いてくるモノ」

ヌル

「はーい、触手のテンタくん、生物兵器でーす♪」

グチュ

「テンタくんはあ、ペロリスト姉妹が作ったメスイキ用の触手兵器」

ヌル

「この子はねー、尻尾についてる触手を伸ばして、耳穴や前立腺を開発していくの♪」

グチュ

「くすくす…どんどんメスを自覚させられてくよ。

耳奥のよわーいところをぐにゅぐにゅしたり…お尻の奥まで入ったり♡」

ヌル

「ゆっくり焦らす時はあ…パン…パン…パンって、ねちっこく打ちつけてえ♪」

グチュ

「早く動かす時は、君の弱いところ的確にコンコンしまくってえ…」

1 ヌル  
2 「んああ…こしゅきい♡って、声漏れちゃうかもね♡」  
3  
4 グチュ  
5 「くすくす、ほおら、触手が耳元まで這い寄ってきた♡」  
6  
7 ヌル  
8 「ほおら…ぐにゅ、ぐにゅって、入ってくよお♡」  
9 テンタくんこんにちはー♡  
10 ん、ん、ん、んー♡」  
11  
12 グチュ  
13 「はい、両耳を侵されちゃいまーす♡  
14 ん、ん、ん、んー♡」  
15 □耳の中に挿入する音「ちゅぷ」  
16  
17 ヌル  
18 「んあああ…入ってきたあ…お耳まんこ入ってきたあ♡」  
19  
20 グチュ  
21 「でも全然痛くない…柔らかくて気持ちい…お耳の奥まで入ってくる」  
22 □耳奥まで入ってくる音「ぬぷううう…ぐにゅううう」  
23  
24 ヌル  
25 「あ…すっ…おお…入ってきた入ってきた…奥まで入ってきたあ♡」  
26  
27 グチュ  
28 「あ、あ、あ…んお…すっ…柔らかくて気持ちい…くすくす…女の子がおちんぼ入れられる  
29 感覚、分かってきたかも♡」  
30  
31 ヌル  
32 「このまま出し入れされちゃったら…ん、ん、ん、あー…ん♡  
33 女の子が絶頂まで導かれる感覚…分かってくるかも♡」  
34  
35 □触手を出し入れする音(ゆっくり)  
36

1 グチュ  
2 「んっぐうう♡っあああん♡…すっご、おまんこちゅぷちゅぷされてる♡  
3 奥まで出たり入ったり…あん、あん、あん、あーん♡」  
4  
5 ヌル  
6 「ああ、このままゆっくり耳まんこ侵されちゃう…。  
7 ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ…お、お、お♡」  
8  
9 グチュ  
10 「んはあ…快感溜まってきた溜まってきた…耳まんこ侵されるのしゅきい…お、お、お  
11 ーん♡」  
12  
13 ヌル  
14 「耳元淫語で煽られながらあ♡どちゅどちゅお下品な耳まんこセックス♡  
15 ぬぼぬぼお耳まんこレイプ、気持ちいいえ♡」  
16  
17 グチュ  
18 「くすくす、君の弱点を把握しちゃったみたい♡」  
19  
20 ヌル  
21 「お耳まんこの奥…鼓膜の手前辺りを触手でぬぷぬぷされるとお♡」  
22  
23 グチュ  
24 「つつんはああ…おお…ほら、きたきたきた♡  
25 お尻の内側までジクジクきちゃいそう♡」  
26  
27 ヌル  
28 「乳首と同じだね…お耳からの快感が前立腺へと繋がりそう♡」  
29  
30 グチュ  
31 「あ、すっごお耳が湿ってぐちゅぐちゅやらしい音が響いてる♡」  
32  
33 ヌル  
34 「触手から出てくる分泌液…えっろーい液体で性感が刺激されちゃうの♡」  
35  
36

1     グチュ  
2     「ちゅぶちゅぶって媚薬を注がれて、お尻の中にジクジク溜まってきそう♡」  
3  
4     ヌル  
5     「んはああ…ぬぼぬぼされるのしゅき♡  
6     おちんぼビクビクしちゃうよお♡」  
7  
8     グチュ  
9     「んーっはああ。  
10    おちんぼの奥がズキズキ疼いちゃうよお♡」  
11  
12    ヌル  
13    「おちんちんから射精できないのに…お尻の中からびくびくーって、空イキしちゃういそうな  
14    快感♡」  
15  
16    グチュ  
17    「あ、油断したら出ちゃう、出ちゃうよおって…くすくす」  
18  
19    ヌル  
20    「でもお、ビクビクするだけで何も出てこないの♡」  
21  
22    グチュ  
23    「君の心はメスに近づいていく。  
24    だからね、男の子として感じないといけない…おちんぼから射精しないと絶対に気持ち  
25    よくなれない…っていうのは固定観念…思い込みかもしれないね」  
26  
27    ヌル  
28    「もちろん、おちんちんシコシコしてえ♡思いっきりびゅっびゅしちゃってもいいからね  
29    ♡  
30    でもお…もし君が女の子として感じたい…女の子みたいな性感を感じたい…メス堕ち調  
31    教されたいならあ…おちんちんを意識する必要はないかも」  
32  
33    グチュ  
34    「そ、乳首やお尻で気持ちよくなるには…女の子として感じる…受け身で感じよっか…」  
35  
36

1 ヌル  
2 「あん♡あん♡あーん♡って喘いだり、目をとろーんってさせながら腰をがくがくさせち  
3 やうの」  
4  
5 グチュ  
6 「男らしさとか、こうあるべきって考えを捨てて、女の子になりきっちゃうの」  
7  
8 ヌル  
9 「うんうん…男の子としてのあなたも、メスとしてのあなたも素敵。  
10 それにね、メス堕ちに達すると、自分の性別が分からなくなるほど気持ちいいんだよ♡」  
11  
12 グチュ  
13 「あ…触手ちゃんに侵されてるよお…もうだめ…お耳をおまんこにされて…ああ…だめだめ  
14 だめ、いぐいぐいぐ…んおとおお…って♡」  
15  
16 ヌル  
17 「ほら、君をメスにしたくて両耳に張り付いてきた♡  
18 あーあ、もう逃げられないかも♡」  
19  
20 グチュ  
21 「触手で全身侵されて…メスの性感帯にされちゃうかも♡」  
22  
23 ヌル  
24 「んはああ…ほら…テンタくん頑張れー♡  
25 お耳をぎゅぎゅに抱擁されたまま…触手で出し入れ…んああっすっごいよお♡」  
26  
27 グチュ  
28 「くすくす…この触手兵器…興奮すると白くてどろっどろの液体を大量射精しちゃうの…」  
29  
30 ヌル  
31 「ちっきも言ったでしょ♡  
32 女の子みたいな性感をイメージするのが大事って♡」  
33  
34 グチュ  
35 「あん、だめえ…だめだよお…おまんこに射精されちゃう…中はだめえ♡  
36 ん、ん、ん、んー♡」

1 ヌレ  
2 「んっぐうう…媚葉ザーメン流し込まれちゃう♡  
3 このままだとお耳まんこ妊娠しちゃうよお♡  
4 でも気持ちいいから止めないでえ♡」  
5  
6 グチュ  
7 「くすくす…止めないみたいだねえ。  
8 あんたのお耳まんこ、気に入っちゃったみたい♡」  
9  
10 □触手が耳奥で動き回る音(ぬちゅ…ぐちゅ…)  
11  
12 ヌレ  
13 「ふふ、パンパンするのやめて、膣奥<sup>ごりごり</sup>責めちやってるぅ♡  
14 ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ♡  
15 お、お、お、おーって♡」  
16  
17 グチュ  
18 「腰を押し付けて膣奥責め…おまんこの奥をゴリゴリされてるみたいな感じかなあ♡  
19 えっろいねえ♡」  
20  
21 ヌレ  
22 「この子、一応女の子なんだけどなあ♡  
23 君をメス堕ちさせてくて必死に頑張ってるの♡  
24 可愛いなあ♡」  
25  
26 グチュ  
27 「んっんっんっんっんっんっおっおっおっおっおっ♡  
28 こんな感じで喘いじやってるのかなあ♡  
29 っふう♡っふう♡っふう♡って」  
30  
31 ヌレ  
32 「吸盤みたいに張り付いてるぅ♡  
33 耳まんこしゅきしゅきーってしながら、膣奥まで触手チンポ入ってるぅ♡  
34 えっろいねえ♡」  
35  
36 □触手を出し入れ(かなり早く)

1 グチュ  
2 「あ…す」、急に早くなってきたあ♡  
3 ん、ん、ん、ぬちゅぬちゅぬちゅ♡  
4 お、お、お、おー♡」  
5  
6 ヌレ  
7 「ほおらテンタくん、お耳まんこにびゅっびゅしたいよねえ♡」  
8  
9 グチュ  
10 「ごろっごろの媚薬ザーメン発射しちゃおっかあ♡  
11 っこはお耳だから、絶対妊娠しないよお♡」  
12  
13 ヌレ  
14 「んおお…いきなり早く動かされるの…しゅきい♡  
15 でもお、気持ち良すぎて息が乱れちゃいそう…♡  
16 一旦呼吸を整えてえ…っふー♡っふー♡っふー♡っふー♡」  
17  
18 グチュ  
19 「ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡♡  
20 呼吸整えるからあ…テンタくん、ちよつと待っ…。  
21 あああん…だめえ…急にされたら…」  
22  
23 ヌレ  
24 「ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡♡  
25 んっぐうう♡、いきなり本気チンポきっちゃあ…くすくす…。」  
26  
27 □触手止める  
28  
29 ヌレ  
30 「え…なんで止めるの♡  
31 んはああ、急に止めないで…だめ♡  
32 焦らすのだめえ♡」  
33  
34 グチュ  
35 「くすくす…なんてね♡」  
36



1 □ 触手を出し入れ(高速)

2

3 ヌル

4 「いったん止めてからあ♡ガンガン出し入れされるの♡

5 お、お、お、おー♡」

6

7 グチュ

8 「んうう…いきなりしゅごいよお…あ、だめだめ、だめ…んああ…っふう♡っふう♡っふう♡」

9

うって♡」

10

11 □ 触手のテンタくんが大量射精する音「びゅる…びゅるるるー」

12

13 ヌルグチュ

14 「あ、出ちやう、出ちやうよお…あ、あ、あ…あ、出ちやう。

15 びゅく、びゅくびゅく、びゅくびゅくびゅくびゅくー♡」

16

17 ヌル

18 「くすくす…媚薬ザーメン、流し込まれちゃったあ♡」

19

20 グチュ

21 「あーあ、お耳だけでこんなに気持ちよくなれるならあ♡」

22

23 ヌル

24 「触手で前立腺をノックされたらあ♡どうなっちゃうのかなあ♡」

25

26 グチュ

27 「くすくす…さっそくお尻の中に入れちゃえ♡」

28

29

30

31

32

33

34

35

36

⑥ 触手パート(お尻)

□ 触手が入る音(尻)「ちゅぷううう…」

ヌル

「んああ♡つぐうう♡ふふ…お尻の奥まで入ってきたあ♡」

グチュ

「くすくす…お尻ヒクヒクしちやいそう♡」

いきなりおま。こ侵されちやつてるねえ。」

□ 触手が前立腺をゆっくり突く音「ちゅぷちゅぷ」

ヌル

「このまま前立腺を♡」

ちゅぷ…ちゅぷって…あーん♡ねちつくく突いてきたあ♡」

グチュ

「んああ♡お尻まんこのG スポットに、ちゅぷちゅぷ当たってる。

じくじくした快感きちやう…すっこ♡んっほ♡」

ヌル

「くすくす…触手チンポでお尻をいじめられるの。」

ぬるぬるした優しい感触でおまんこ侵されちやう。」

グチュ

「このまま前立腺をゆっくり押し込むと。」

ヌル

「んうううっおお♡すっこ、じくじくじく…えっろーい快感が溜まつてきそう。」

グチュ

「じくじくした快感…お尻の中に溜まつてきちやうよお…くすくす。

女の子みたいなの…おまんこみたいなの性感」

1 ノル  
2 「くす♡もーっとびったりくつついてえ♡  
3 前立腺をベロチューしちゃえ♡」  
4  
5 ロえぐい音で触手責めされる  
6 ノル  
7 「あ…だめえ…子宮ちゅぷちゅぷされるのだめえ♡  
8 んあああ…だめ♡膣奥入ってくるの…だめ♡」  
9  
10 グチュ  
11 「んうう♡だめ♡ほんとこれ弱いからあ♡んっぐううう♡っほおお♡  
12 これしゅごいよお♡…くすくす」  
13  
14 ノル  
15 「メス堕ちスポットをこんこん♡  
16 えつろーい触手でちゅぶうううつてされちゃうと…女の子になっちゃうよお♡」  
17  
18 グチュ  
19 「ん、ん、んはあ♡お股の内側ジンジン温まってきちゃう♡」  
20  
21 ノル  
22 「くすくす…もう触手で刺激しなくても、自らお尻ヒクヒクさせちゃうてる♡  
23 好きなんだねえ♡」  
24  
25 グチュ  
26 「くす、腰がくねくねしちやいそう♡  
27 ほんとにおまんこみたい♡」  
28  
29 ノル  
30 「ぐにゅ…くすくす…ぐにゅぐにゅって、中の気持ちいところに当たってるよお♪  
31 コリコリした前立腺…ここを押すたびに全身ビクン♪ビクン♪って、女の子みたい♪」  
32  
33 グチュ  
34 「もう認めちゃつていいと思うよお♪  
35 君は男の子じゃなくて、お尻まんこで感じちゃうメスなの♪」  
36

ヌル

『もう自分のこと、女の子だって認めてもいいかもね♪』

グチュ

『そう、君の体はオスだけど、メスのように感じられるドスケベボディなの♪』

ヌル

『素直に女の子になっちゃえ♪』

グチュ

『男なのにお尻犯されて、どんどん感度が高まっていくの』

ヌル

『だって君はメスなんだから、お尻の奥をコンコンすると…』

お股の内側からジンジン疼いちゃうよね。』

グチュ

『甘い痺れがきちゃう♡』

あ、あ、あ、んうう…どんどん溜まってきちゃう。

前立腺をツンツン♡…ちゅぷちゅぷ♡』

ヌル

『君の心は女の子…やらしくてスケベなメスなの♪』

君はメスだから、くる…きちゃうよお♡…いぐいぐいぐうん♡って。

何回でも連続絶頂できるの♡』

グチュ

『なんつーか自分から追い求めるんじゃないく、自然と快感に襲われる感じ。

だから、『いく』つつーよりも『くる』感じだよ』

ヌル

『まあどっちでもいいよね。

せつかくメスになれたんだから、連続でいぐいぐしちやおつかあ♡』

1 グチュ  
2 「ほら、お尻ま。この深い部分…」  
3 メスイキG スポット、前立線全体を押し込むように♡  
4  
5 ノル  
6 「っんはああ…触手チンポでどちゅどちゅされたら…あ、あ、あ、んううう♡」  
7 いきなりだめ…そこ弱いからあ…」  
8  
9 グチュ  
10 「ケツ穴にゅ。にゅ。動くのだめ…んっぐうう。  
11 つふう♡つふう♡つふう♡…んはあ、んはあ、んはあ…」  
12  
13 ノル  
14 「んはあ…またケツ穴を締めるとお♡  
15 ふ————♡ふ————♡ふ————♡」  
16  
17 グチュ  
18 「っんぐううう…っほおおお…つふう♡つふう♡つふう♡…」  
19  
20 ノル  
21 「くす、メス堕ちオーガズムのお時間でーす♡」  
22  
23 グチュ  
24 「もーっと速く、ちゅ。ちゅ。ちゅ。ちゅ。ちゅ。♡パンパンパン♡」  
25  
26 □触手で前立腺突き↓やや早めに  
27  
28 ノル  
29 「あ、あ、あ、お尻の中ヤバイ…前立腺ジワジワし過ぎて…お尻ま。ここに快感溜まり過ぎ  
30 てヤバイ。  
31 でもお♡もーっと刺激は強くなるの…」  
32  
33 グチュ  
34 「ここから前立腺を10回、100回、うーん、もったかなあ♡  
35 1000回くらい…何度も何度も刺激されてくの♡」  
36

1 ノル

2 「あーあ♡全身がどろっどろに溶けちゃうかも♡  
3 でも大丈夫♡」

4  
5 グチュ

6 「気持ち良すぎてお尻をぎゅっぎゅしても、耳がビクビクしても大丈夫…♡  
7 だって君はメスなんだから…気持ち良くなるのが大好きなメスなの♡」

8  
9 ノル

10 「呼吸を整えて、アナルを引き締めるとお…」

11  
12 グチュ

13 「前立腺が圧迫されてえ♡  
14 膣奥ぬぼぬぼされちゃうの♡」

15  
16 ノル

17 「お尻まんこ締められて、触手チンポが逃げられなくなるの♡」

18  
19 グチュ

20 「ほら、どちゅどちゅどちゅどちゅ…あ、あ、あ、んああ…すっ…」

21  
22 ノル

23 「んはあ…じくじく止まらない…前立腺ぬちぬちゅされるのしゅきい♡」

24  
25 ◇耳奥舐め(高速で舌を動かすような表現)

26  
27 グチュ

28 「くす、お耳ま。こもベロで刺激されてくよ♡  
29 脳舐めメスイキ絶頂に向かって、せーの」

30  
31 ◇耳を咥えながら→「しゅきい♡」

32  
33 ノルグチュ

34 「はあああむ、んむううう。  
35 しゅきい…ぐぼぐぼぐぼぐぼ…お耳まんこしゅきい…ぐぼぐぼぐぼ…れっつろおれ  
36 っつろおれっつろおれっろお…えれれ、えれれれ…じゅううううっぷは」

1 ヌル  
2 「女の子みたいを受け身になってえ…。  
3 あ、きちゃう、おまんこずきずきしちゃうよお…って♡」  
4  
5 グチュ  
6 「あ、あ、あ、おまんこにゆぷにゆぷだめ  
7 え…あん、あん、あん、あーん♡」  
8  
9 ヌル  
10 「ほら、受け身で感じてみよっか」  
11  
12 グチュ  
13 「下半身がじわじわーってとろけるような感覚に包まれてくの」  
14  
15 ヌル  
16 「はあああむ…ぐぼぐぼぐぼぐぼおお…ぐぶぶ、ぐぶぶぶぶううう…っちは」  
17  
18 グチュ  
19 「はあああむ…ぐぼぐぼぐぼぐぼおお…ぐぶぶ、ぐぶぶぶぶううう…っちは」  
20  
21 スライム娘(ペロリスト姉妹に擬態)  
22 □スライム娘に全身を覆われる音  
23 (控えめな音から、どんどん激しくなる)  
24  
25 ヌル  
26 「くすくす…これで終わりだと思ったあ？」  
27  
28 グチュ  
29 「あ…全身まとわりついてきたあ♡  
30 あ、何これ、だめ…いきなりだめえ♡」  
31  
32 ヌル  
33 「このぬめぬめした感じ、何か分かるかなあ？」  
34  
35 グチュ  
36 「これはあ、メスイキ用の最終兵器、スライムJKちゃん♡」

1 ヌル  
2 「可愛い女の子に擬態して、君の全身をどろどろに溶かしていく…やらしい女の子♡」  
3  
4 グチュ  
5 「くすくす…君好みの見た目をしたスケベな女の子」  
6  
7 ヌル  
8 「ぐちゃ…ぐっちゃあって全身にまわりついてくる」  
9  
10 グチュ  
11 「あ…きちゃう…おちんぼの先端…女の子のクリまで侵されちゃう…♡」  
12  
13 ヌル  
14 「くすくす…全身をおまんこのようにぐちゅぐちゅ弄られてえ♡」  
15  
16 グチュ  
17 「ぬぼぬぼぬぼ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…」  
18  
19 ヌル  
20 「ぐっちゃぐっちゃ、ぐっちゃあああ…えっろーい快感がおまんこに響いちゃう」  
21  
22 グチュ  
23 「ぐちゃぐちゃ、ぐちゃぐちゃ…ぐっちゃあああ…。  
24 下半身にジクジク響くようなえっろーい音」  
25  
26 ヌル  
27 「んううう…はああ…全身のぬめりが糸を引いて、ぐちゃぐちゃやらしい音に襲われちゃ  
28 う♡」  
29  
30 グチュ  
31 「んううう…はああ…ふにやふにや溶けるような快感に襲われちゃう」  
32  
33 ヌル  
34 「触手アナル、脳舐め、スライム…。  
35 一気に全身侵されたらあ…メスのはしたなーい本気アクメがきちゃう♡」  
36



1 グチュ  
2 「やらしい女の部分を侵されて、おまんこ専用のメスみたいに扱われたら…くすくす…」  
3  
4 ヌル  
5 「あ、あ、んっっはああ…つくうん♡  
6 スケベな喘ぎを漏らしながら、はしたなく腰を震わせて、メスイキめちやうの♡  
7  
8 グチュ  
9 「頭真っ白になって、ドスケベな絶頂がきちやうよ♡」  
10  
11 グチュ  
12 「つよい痺れが前立腺へとジクジク流れ落ちてくる」  
13  
14 ヌル  
15 「あ、あ、だめえ…もう許してえって♡…メスおまんこが反応しちやう」  
16  
17 グチュ  
18 「でも許してくれない、ほんとにもっと高い場所へ行きたい」  
19  
20 ヌル  
21 「メスの本気アクメを知りたいもんね。  
22 くすくす」  
23  
24 グチュ  
25 「スケベな水音が脳内まで響いて、全身が溶かされるような快感」  
26  
27 ヌル  
28 「もっと激しく、淫らなメスの快感を知りたいかな」  
29  
30 グチュ  
31 「今なら感じられるよ、本気のメスイキ絶頂」  
32  
33 ヌル  
34 「ほら、全身に這い寄るぐちゅぐちゅ感が強まっていく」  
35  
36

1 グチュ  
2 「ぬるぬるしたものが全身に入ってくるかのように、ぐちやぐちや侵される」  
3  
4 □スライム娘(ぐちちやぐちちにされる音)  
5 ↓下半身から胸の位置にまわりつく  
6  
7 ヌル  
8 「ああ…だめ、溶かされちゃう…男の子についてるモノが溶かされちゃう…ぐちゅぐちゅ  
9 ぐちゅぐちゅ」  
10  
11 グチュ  
12 「んああ…だめだめだめ…これしゅご…おほ…んうう…はあ。  
13 お尻の奥に、おまんこのような快感がズキズキ疼いてくる」  
14  
15 ヌル  
16 「お股にあるモノ…男のモノがないような感覚…飲み込まれていく快感…」  
17  
18 グチュ  
19 「まるで、あるはずのないメス穴を意識させられて、子宮の位置がずきゅん、ずきゅんっ  
20 て、疼いてくる」  
21  
22 ヌル  
23 「ジクジク、甘くて淫らな快感が、中を刺激していく」  
24  
25 グチュ  
26 「メス穴にある丸い広がり、ジクジク快感が溜まってくる」  
27  
28 ヌル  
29 「ほら…んはあ…とろけるようなメスの性感が、じゅわじゅわーって弾けてきちゃう」  
30  
31 グチュ  
32 「お尻の奥も、おまんこの奥も、甘い痺れにジクジク追いやられる」  
33  
34 ヌル  
35 「メス穴を同時に責められて、はしたなくアクメをきめちゃうメスの姿…あ、あ、あ、ん  
36 うううう…」

1 グチュ  
2 「喜んで淫らな表情を浮かべる、やらしくてスケベな女」  
3  
4 ヌル  
5 「2穴を責められて、はしたない顔で下品に喘ぎ狂うメスの姿」  
6  
7 グチュ  
8 「ね、もう誰のことか分かってるよね…。  
9 メスを自覚しちゃったもんね」  
10  
11 ヌル  
12 「そう、君はメスの性感を知っている。  
13 体の中で眠っていた女の快感」  
14  
15 グチュ  
16 「メスに堕ちていく快感を知っている。  
17 それを呼び覚ましていくだけ…」  
18  
19 ヌル  
20 「ただただ、メスの快楽に身を包まれるだけ。もう他のことは必要ないよね」  
21  
22 ヌル  
23 「ベツタリと張り付いたぬめぬめした感触が、おまんこの中に入り込み…ぐちゃぐちゃに  
24 侵していく」  
25  
26 グチュ  
27 「おまんこの中で、メスの快感がべったりと染み付いてくる。  
28 あ、あ、あ…んううう…じくじくじく…」  
29  
30 ヌル  
31 「じゅわーって、とろけるような快楽がおまんこを侵していく。  
32 んうう…っぐう…っはああ…」  
33  
34 グチュ  
35 「後ろの穴も責められて、にゅぷにゅぷ前立腺を刺激される」  
36

1 ヌル  
2 「うねうね動くモノに、何度も何度もメスの弱い部分を刺激され、甘い疼きが止まらない」  
3  
4 グチュ  
5 「下半身の中をぐちゃぐちゃに掻き回されていく…痺れるようなメスの疼きが膨らんでく  
6 る」  
7  
8 ヌル  
9 「メス穴を突かれるたびに、じくじくが響いちやう」  
10  
11 グチュ  
12 「中にある快感の風船が膨らんでくる。  
13 ずきゅん、ずきゅん、ずき、ずき。  
14 あ、あ、あ、すごつつんお…早くいきたい、いきたいよお…」  
15  
16 グチュ  
17 「少しずつ膨らんで、優しく弾けて、一気に気持ちいいのが飛んでくる」  
18  
19 ヌル  
20 「まだ小さいから、どんどん膨らんでいける」  
21  
22 グチュ  
23 「メス穴の疼きがくるたびに、頭もとろとろに溶けてきちやう」  
24  
25 ヌル  
26 「このまま、3つ目のメス穴も侵されていく」  
27  
28 グチュ  
29 「あ、だめ…んうう…もうこれ以上はだめえ…おかしくなっちやう…」  
30  
31 ヌルグチュ  
32 「はああああむ…ぐぼぐぼぐぼぐぼ…ぐっぽ！ぐっぽ！ぐっぽ！ぐっぽ！  
33 ぐっぽおおおおお！っふは」  
34  
35 ヌル  
36 「全身から脳内へと響き渡る淫らな音が、メス穴を刺激する」

1     グチュ  
2     「ぬるぬるぬるぬる…ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ…耳から響き渡る激しい水音」  
3  
4     ヌル  
5     「ぬめぬめしたモノに全身を覆われ、ぬるぬる動くモノに中を刺激され、穴という穴を侵  
6     される音」  
7  
8     ヌル  
9     「メスになったばかりのあなたには強すぎる快楽」  
10  
11    グチュ  
12    「もう我慢できない…絶頂を迎えたい…迎えたいよね」  
13  
14    ヌル  
15    「いいよ、このままメスイキに達しちゃおうね」  
16  
17    メス堕ち達成シーン  
18  
19    グチュ  
20    「メスの性感が溜まりきると、どうなっちゃうのかな」  
21  
22    ヌル  
23    「んふふ…んううう…この気持ち良さが高まると」  
24  
25    グチュ  
26    「下半身をガクガク震わせて、メスイキしちゃうの」  
27  
28    ヌル  
29    「お腹、お尻、腰全体の筋肉がビクビク痙攣してきちゃう…」  
30  
31    グチュ  
32    「天井に向かってビクビク跳ねちゃう」  
33  
34    ヌル  
35    「びっくーん！って、一気に快感が高まって絶頂を迎えるの」  
36

1 グチュ  
2 「そうして絶頂を迎えると、あまあまな痺れ、ジワジワした快感だけが残っていく」  
3  
4 ヌル  
5 「5、おまんこぬぼぬぼされる度に、メスのあまーい快感がやってくる。  
6 下半身全体から、メスの快感が広がってくる」  
7  
8 グチュ  
9 「んはあ…だめ、きちゃう…中が痺れちゃう。腰全体がガクガクしちやいそう」  
10  
11 ヌル  
12 「4、下半身がムズムズしてきちゃう。  
13 全身をぐっちょぐちょに溶かされるような快感」  
14  
15 グチュ  
16 「甘くて淫らな快感で腰が震えてくる。  
17 メスイキへの期待感で、ムズムズした感覚が止まらない」  
18  
19 ヌル  
20 「3、メスの性感で喘ぐ自分を想像する。  
21 んっぐうう…んはあっ…もうだめ…いぐ…いぐいぐうん…んはああ。  
22 って…情けなく喘ぎ狂うメスの姿」  
23  
24 グチュ  
25 「全身を溶かされ、メス穴を侵され、スケベな脳汁が溢れ出ているメスの顔。  
26 白目を剥いて、ペロを出して、情けないエロ顔晒しちやう」  
27  
28 ヌル  
29 「顔全体が脱力して、涎を垂らしたまま、びく…びくびくびくびくって腰を震わせている  
30 エロい女」  
31  
32 グチュ  
33 「想像すればするほど、メスの快感が体に染み付いて、腰がガクガクしてくる」  
34  
35  
36

1 ヌル  
2 「2、メスの快感がずきゅんずきゅんって、下半身の内側から響き渡る」  
3  
4 グチュ  
5 「イキたいと思えば思うほど、お尻から腰へ、腰から腹筋へ…ビクビク動いてくる」  
6  
7 ヌル  
8 「メス穴の中で溜まりきった快感が解放されそう。  
9 甘くて気持ちいい痺れで、下半身全体がガクガク震えてきちゃう」  
10  
11 グチュ  
12 「もう少しで気持ちいいのがやってくる」  
13  
14 ヌル  
15 「1、淫らな快感でメスに堕ちていく。  
16 全身が溶けるように脱力して、おまんこのような性感にズキズキ襲われる」  
17  
18 グチュ  
19 「メス穴が快感に襲われて、ガクガク震えてきちゃう。  
20 あ、だめ…きちゃう。  
21 メスの快感がジクジク上がってくる」  
22  
23 ヌル  
24 「あ、あ、気持ちいい、気持ちいいよおって、メスのおまんこ性感に襲われる」  
25  
26 グチュ  
27 「下半身から上がってくる…とろとろのおまんこで絶頂するような快感」  
28  
29 ヌル  
30 「0、お腹、お尻、腰全体の筋肉がビクビク痙攣してきちゃう…」  
31  
32 グチュ  
33 「んはあああ…だめだめだめ…ぎじやうがらあ…いぐ…いぐいぐいぐ…いっぐううん…  
34 っほおおお…♡」  
35  
36

1 ヌル  
2 「天井に向かってビクビク跳ねちゃう。  
3 びっくーん！って、一気に快感が高まって絶頂を迎える」  
4  
5 グチュ  
6 「ああ…いぐいぐ…もういっちゃうよお…いっちゃいますう…いぐいぐいぐいぐ…っほお  
7 おお…んおお…！っ♡」  
8  
9 ヌル  
10 「あー、気持ちい、ジクジク気持ちいよお♡意識しなくても下半身が震えてくる」  
11  
12 グチュ  
13 「下半身が…ガタガタガタガタ、ガタガタガタガタって震えて、最後の最後には」  
14  
15 ヌル  
16 「びっくーんって、下半身を天井に突き出すようにオーガズムを迎える」  
17  
18 グチュ  
19 「脳みそがどろどろに溶けちゃう、あまーい快感が止まらない」  
20  
21 ヌル  
22 「白い光が見えて、一瞬意識が曖昧になる。  
23 気持ち良くて気持ち良くて、あ、あ、あ、んはああ…んううう…」  
24  
25 グチュ  
26 「メスの悦びに全身を支配されて、脳みそまでとろとろにされる」  
27  
28 ヌル  
29 「溶かされて溶かされて、メスの性感に馴染んでいく」  
30  
31 グチュ  
32 「女の子のような体つき…ほどよくムチツとしたスケベな女体。  
33 凹凸のある美しい女体が、ひくひく動いて感じている姿」  
34  
35  
36



1 ヌル  
2 「あー、あー……、んはああ…。  
3 メスの快感、とっても気持ちい」  
4  
5 ヌルグチュ  
6 「はあ、んはあ…はあ…んはあ…はあ…んう…んはあ…はあ…んはあ…んうう…んはあ…。  
7 んはあ…ふふ」  
8  
9 グチュ  
10 「んふふ…メス落ちオーガズム、天に登っちゃいそうな幸福感」  
11  
12 ヌル  
13 「こうして絶頂を迎えると、あまあまな痺れ、ジワジワした快感だけが残っていくよ」  
14  
15 グチュ  
16 「まだぼわぼわーって、メスの余韻が残っている」  
17  
18 □少し間(5秒)  
19  
20 ヌル  
21 「心地いい、心地いいね。  
22 このままボケーっとしていいよ。  
23 ちょっとお話しようか」  
24  
25 グチュ  
26 「ヌル姉、楽しい時間ってあつという間だね」  
27  
28 ヌル  
29 「うんうん、グチュちゃんの言う通り。  
30 そうだねー、楽しい時間はすぐ終わっちゃう」  
31  
32 グチュ  
33 「でも、私達と過ごす中で、少しでも生きる喜びが持てたなら、嬉しいなあって」  
34  
35  
36

1 ヌル  
2 「そうだね。  
3 やなこともある世の中で、「人でも多くの人が穏やかな気持ちで過ごせたらいいよね」  
4  
5 グチュ  
6 「いや、そもそも寝てる中で勝手に拉致したやつが何言ってるんだか…ふーくすくす」  
7  
8 ヌル  
9 「むう…でも私達ペロリストの使命はそんな感じでしょー？」  
10  
11 グチュ  
12 「ほんと、世間知らずってやつだよね。  
13 まあ、これがペロリスト姉妹流のおもてなしってやつかな。  
14 この世界の基準だと、至ってクレイジーだけだね」  
15  
16 ヌル  
17 「まあ、狂っててもいいじゃん♡  
18 快樂は救いになるし」  
19  
20 グチュ  
21 「ぶっちゃけ、快樂は毒にも薬にもなるよね」  
22  
23 ヌル  
24 「うーん、どゆこと？」  
25  
26 グチュ  
27 「自分がコントロールできてるかどうか、依存してない限りは、生きる喜びにもなるかな  
28 ーっっっ」  
29  
30 ヌル  
31 「まあ、使い方次第ってことかあ」  
32  
33 グチュ  
34 「そ、まあペロリストのやり方は、この世界では邪道っていうらしいけど…くすくす」  
35  
36

1 ヌル  
2 「気持ち良ければそれで良し。  
3 そういう感じだもんねー、私達」  
4  
5 グチュ  
6 「ってことで、そろそろ眠くなってきたかなあ」  
7  
8 ヌル  
9 「どうでもいい話聞かされると、眠くなっちゃうよね」  
10  
11 グチュ  
12 「それじゃあ…また会おっか」  
13  
14 ヌル  
15 「君が望めばまた現れる…テレパシーみたいなやつで伝わるから♡」  
16  
17 グチュ  
18 「そ、メスの快樂を知りたくなったら、また拉致しちゃうかねー♡」  
19  
20 ヌルグチュ  
21 「それじゃあ、ばいばーい♡」  
22  
23 ヌル  
24 「って、やっぱり寝れへんわー」  
25  
26 グチュ  
27 「うーん、寝れないかあ」  
28  
29 ヌル  
30 「それじゃあ目を覚ますために、0 から10 まで数えまーす」  
31  
32 グチュ  
33 「ほーい、スッキリと目を覚ましてね」  
34  
35  
36

- 1 ヌル
- 2 「0、ストレッチで体を伸ばしてく。
- 3 両足をゆっくり広げて∴床にくつつけるように」
- 4
- 5 グチュ
- 6 「1、肩に力を脱力させた後、力を入れていく」
- 7
- 8 ヌル
- 9 「2、顔全体を意識して、少しずつ力が戻ってくる」
- 10
- 11 グチュ
- 12 「3、体の背面を意識して、床にくつつけるように」
- 13
- 14 ヌル
- 15 「4、胸の鼓動を意識する」
- 16
- 17 グチュ
- 18 「5、お腹が膨らみ縮むのを意識する」
- 19
- 20 ヌル
- 21 「6、胸じゃなくて、お腹から呼吸をする」
- 22
- 23 グチュ
- 24 「7、一旦息を吐き切って∴ゆっくりと息を吸う」
- 25
- 26 ヌル
- 27 「8、お腹が膨らんでいくのを感じる。
- 28 その状態を少し保つ」
- 29
- 30 グチュ
- 31 「9、お腹にある風船が縮んでいくようなイメージで、息を吐き切る」
- 32
- 33 ヌル
- 34 「10、全身にゆっくり、ぎゅうっと力を入れていく」
- 35
- 36

1 グチュ  
2 「はい、おはよ」  
3  
4 ヌル  
5 「両手を上げて、ゆっくりと体をころころ転がしたり、体を馴染ませてから起こそうね」  
6  
7 グチュ  
8 「立ちくらみには気をつけなよー。  
9 体を急激に起こすのは危ないからね」  
10  
11 ヌル  
12 「はい、それじゃあゆっくり目を覚ましてえ、今度こそさようならー」  
13  
14 グチュ  
15 「今から異世界に転送しまーす」  
16  
17 □レポートする  
18  
19 ヌル、グチュ  
20 「みよーーん、さいならー」